

□主な内容

【第 6 回 EST 交通環境大賞への応募を受付中！】[応募締切:9 月 30 日(火)]

今年度も EST 交通環境大賞への応募を受け付けています。全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2014.html>

【関東 EST 創発セミナー(宇都宮)参加者募集中！】

平成 26 年 11 月 14 日(金)に、宇都宮にて環境にやさしい公共交通を考えるセミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちします。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu33.html>

【第 4 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(富山)追加募集】

10/8(水)-10(金)[於:富山]で開催する人材養成研修会の参加者を先着 1 名追加募集しています。参加ご希望の方は今月中に事務局(03-3221-7636)までお問合せ下さい。

<http://www.estfukyu.jp/training2014.html>

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 98 回)

●「シェアード・スペース:新しい道路空間デザインへの期待」

【京都大学工学研究科都市社会工学専攻 助教 宮川 愛由】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 98 回)

●「明石市 Taco バス:PDCA による 100 万人への軌跡」

【明石市土木交通部交通政策室交通政策課 係長 若間 康弘、阿江 良朗】

3. ニュース／トピック

●世界の二酸化炭素濃度の増加と海洋の酸性化が進行中～WMO 温室効果ガス年報第 10 号の発表～【気象庁】

●アシストカの大きいリヤカー付電動アシスト自転車の配送事業への活用について【経済産業省】

●エコタウン等における資源循環社会と共生した低炭素地域づくり補助金事業の公募について【環境省】

●「公共交通、走る姿が街の顔」をスローガンに「四国統一公共交通利用促進キャンペーン」を実施【四国運輸局】

●「平成 26 年度九州運輸局交通環境対策アクションプラン」の策定について【九州運輸局】

●第 6 回 EST 交通環境大賞への応募を募集中【EST 普及推進委員会】

●超小型モビリティによるワンウェイ型カーシェアリング「超小型 EV にサクサク乗ってみませんか？」を実施【さいたま市、本田技研工業株式会社】

●レンタサイクル社会実験を 10 月 1 日に開始【松江市】

●仏グルノーブル市において、超小型 EV を用いた新しいモビリティ・プロジェクト「Cité lib by Ha:mo (シテリブ・バイ・ハーモ)」が始動【グルノーブル市、グルノーブル都市圏共同体、シテ・リブ社、フランス電力公社、ソデトレル社、トヨタ自動車株式会社】

●電気自転車に関するメリットをまとめた報告書を公表【ドイツ連邦環境庁】

4. イベント情報

●第 4 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(富山市)【2014/10/8-10】

●関東 EST 創発セミナー「環境にやさしい公共交通のこれからを考える」【2014/11/14】

●交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会(東京)【2014/10/1】

●バスフェスタ 2014 in Tokyo【2014/10/4】

●EV・PHV タウンシンポジウムーin 鳥取ー【2014/10/11】

●鉄道の日記念ポートラム運転体験会【2014/10/11】

●エンジョイエコドライブおかやま【2014/10/25】

●みんなで楽しむ！学ぶ！「とやまエコドライブ講習会 & コンテスト 2014」【2014/11/8】

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2014【2014/11/8-9】

●第 12 回 ITS シンポジウム 2014【2014/12/4-5】

●エコプロダクツ 2014(第 16 回)【2014/12/11-13】

5. その他

●EST パートナースHIP 会員制度に参加する団体を募集しています！

●交通環境学習を实践する小中学校を募集しています！（9/30 まで）

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

●交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

●記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 98 回)

●「シェアード・スペース:新しい道路空間デザインへの期待」

【京都大学工学研究科都市社会工学専攻 助教 宮川 愛由】

「シェアード・スペース(Shared Space)」という言葉をご存知でしょうか？

オランダの交通工学者 Hans Monderman によって提唱された、自動車と歩行者との「共存」を図る新しいコンセプトです。その理論は、「交通ルールによって安全性を高めよう」という従来の道路工学の考え方とは逆転の発想で、最大限、交通ルールを取り払い、ドライバーに「安全でなくなった」と感じさせることで、速度抑制を図り、安全性を高めよう、というものです。

ただし、どのような道路でもシェアード・スペースが適しているというわけではありません。そもそも、道路を横断する歩行者や自転車が少なければ、クルマはどうしても速度を出してしまう傾向にあるため、堂々と道路を横断する歩行者や自転車で賑わっている場所の方が、シェアード・スペースには適していると言えます。そうした賑わいのある空間の中で、例えば、車道と歩道の段差を解消し、赤レンガ舗装で一体的に整備することで歩車共存空間を創出し、道路上の信号や標識類をなるべく撤去することで、ドライバー、歩行者、自転車など、道路上のすべてのプレイヤーが互いに慎重になり、アイコンタクトや会釈などのコミュニケーションを積極的に行うことで、安全性の向上が期待されるのです。

既にシェアード・スペースが導入されている欧州では、「お互いに思いやるようになった」、「速度低下によって道路を横断しやすくなった」といった声が聴かれ、実績値としても走行速度の低下や事故率の低下が確認されています。さらに、安全面だけでなく、信号や標識の撤去、空間デザインの統一による景観の改善、沿道にオープンカフェの展開がなされるなど、道路空間の魅力向上、といったまちづくりの観点からの効果も報告されています。

日本では、まだ馴染みのない「シェアード・スペース」ですが、今後、社会実験をはじめとする様々な研究が進み、安全で快適、かつ、地域の魅力を高める新しい道路空間デザインが全国各地に広がっていくことを期待します。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 98 回)

●「明石市 Taco バス:PDCA による 100 万人への軌跡」

【明石市土木交通部交通政策室交通政策課 係長 若間 康弘、阿江 良朗】

Taco バスは平成 16 年に実験運行を開始し、平成 18 年度には 3 路線で本格運行に移行しました。さらに、平成 19 年 5 月に策定した総合交通計画において、路線バスの運行していない市西部地域における鉄道駅と地域を結ぶ交通体系として路線拡大することとなりました。また、同計画には運行の見直し基準(収支率 50%)も明記し、同年 11 月には年間

利用者 100 万人を目標として 17 路線で運行を始めましたが、平成 20 年度の利用者は 72 万人にとどまったため、路線の見直しや利用促進の取組みを始めることとなりました。

路線の見直しについては、利用実態調査や住民ワークショップ等を踏まえてこれまで 9 路線で実施してきましたが、いずれも見直し後は利用者が増える結果になっています。

また、目標に満たない路線でも利用者が増加傾向の場合などは、見直しに迷うケースもあったため、平成 24 年度に総合交通計画を改定する際に、利用実績から目標年までの達成可能性を予測し、改廃判定をするスキームを確立しました。これにより平成 26 年度からは 3 路線を見直しています。

一方、モビリティ・マネジメント的手法による利用促進の例に、未利用者等の利用誘導を図るスタンプラリーがあります。乗車路線に応じたシールを配布、集めると商品に応募ができる取り組みですが、昨年度からは既存利用者の利用頻度も高めるために、利用日と同じ数字のシールを配布し列を揃えるビンゴ形式を採用しています。

他にも休日の利用促進を図るために、土日祝日は同伴の子供 2 名まで無料となるエコファミリー制度の導入、地理が不慣れでクルマに頼りがちな転入者へのお試し乗車券の配布など、課題に応じた取り組みの横断的な実施もあり、平成 25 年度末に利用者は 102 万人を記録しました。

近年では、利用促進を図る「仲間」を増やすことを目指し、地域イベントでの PR やサポーターの認定、学校でのモビリティ・マネジメントなどによって、地域や沿線施設との連携に努めた結果、地域の自主イベントや利用者の特典を設ける応援店が出現するなど、地域でバスを支える意識も広がりを始めています。

3. ニュース／トピック

●世界の二酸化炭素濃度の増加と海洋の酸性化が進行中～WMO 温室効果ガス年報第 10 号の発表～【気象庁】

気象庁では、世界気象機関(WMO)の温室効果ガス世界資料センター(World Data Centre for Greenhouse Gases: WDCGG)として、大気中の温室効果ガス観測データについて世界の専門家と協力して解析した結果、2013 年の世界の二酸化炭素濃度の前年からの年増加量が観測史上最も大きかったことが分かった。

http://www.jma.go.jp/jma/press/1409/09a/GHG_Bulletin_10.html

●アシスト力の大きいリヤカー付電動アシスト自転車の配送事業への活用について【経済産業省】

経済産業省では、産業競争力強化法に基づきヤマト運輸株式会社及びヤマハ発動機株式会社から共同で申請された新事業活動計画を認定しました。同計画は、新たな物流

手法としてアシスト力の大きいリヤカー付電動アシスト自転車を配送事業に活用する新たな事業活動を行うものです。

<http://www.meti.go.jp/press/2014/09/20140918001/20140918001.html>

●エコタウン等における資源循環社会と共生した低炭素地域づくり補助金事業の公募について【環境省】

環境省では、エコタウン等を有する自治体及びエコタウン等において循環産業に取り組んでいる事業者を対象に、循環資源の循環利用と低炭素化の両方を実現する先進的なモデル地域を形成するための FS 調査又は事業化計画策定調査に対する補助金事業を行います。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18611>

●「公共交通、走る姿が街の顔」をスローガンに「四国統一公共交通利用促進キャンペーン」を実施【四国運輸局】

四国運輸局では、地域の公共交通の活性化・再生を、高齢者をはじめとする地域住民の自立した日常生活の確保や活力あるまちづくりの実現、観光振興による地域の活性化、環境問題への対応の一つとし、バスや電車に親しむ機会を通じ公共交通機関の利用を促進するため、昨年、公募により決まった「公共交通、走る姿が街の顔」をスローガンに、9月14日(日)から約1ヶ月間、四国統一公共交通利用促進キャンペーンを実施しています。

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2014/2014-0902-1821-4.html>

●「平成26年度九州運輸局交通環境対策アクションプラン」の策定について【九州運輸局】

九州運輸局では、地球温暖化をはじめとする今日の環境問題に対し、具体的な施策を明らかにし、総合的かつ一体的に取り組むを進めていくことを目的として、毎年、「九州運輸局交通環境対策アクションプラン」を策定しております。この度、平成26年度版が完成しましたので、ご紹介します。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0919-kankyo.pdf>

●第6回 EST 交通環境大賞への応募を募集中【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取り組み事例を発掘し、優れた取り組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞を募集しています。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。〔応募締切：9月30日(火)〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2014.html>

●超小型モビリティによるワンウェイ型カーシェアリング「超小型 EV にサクサク乗ってみませんか？」を実施【さいたま市、本田技研工業株式会社】

さいたま市と本田技研工業株式会社では、「超小型モビリティの導入促進事業」の一環として、大宮駅周辺において新たな交通システムの可能性を検証するため、超小型モビリティによるワンウェイ型のカーシェアリング「超小型 EV にサクサク乗ってみませんか？」を実施します。

<http://www.city.saitama.jp/001/009/004/002/004/p037484.html>

<http://www.honda.co.jp/news/2014/4140912.html>

●レンタサイクル社会実験を 10 月 1 日に開始【松江市】

松江市では、市内中心部での公共交通の端末交通ならびに徒歩での移動を補完する交通手段として、自転車を活用し市民生活や企業活動における移動の利便性や回遊性を向上させるシステムを検討するために、レンタサイクル社会実験を実施します。

http://www1.city.matsue.shimane.jp/kurashi/koutsu/koukyou-koutsuu/renta_cycle.html

●仏グルノーブル市において、超小型 EV を用いた新しいモビリティ・プロジェクト「Cité lib by Ha:mo (シテリブ・バイ・ハーモ)」が始動【グルノーブル市、グルノーブル都市圏共同体、シテリブ社、フランス電力公社、ソデトレル社、トヨタ自動車株式会社】

グルノーブル市、グルノーブル都市圏共同体、シテリブ社、フランス電力公社、ソデトレル社(EDFの完全子会社)、トヨタ自動車株式会社は、10月1日より、公共交通機関と連携した新しいカーシェアリングサービス「Cité lib by Ha:mo」を開始します。このサービスでは、渋滞や大気汚染などの都市交通における課題に対応するために、公共交通機関を補完する近距離移動を超小型電気自動車(EV)が担います。

<http://newsroom.toyota.co.jp/jp/detail/mail/3962021>

●電気自転車に関するメリットをまとめた報告書を公表【ドイツ連邦環境庁】

ドイツ連邦環境庁は、電気自転車に関するメリットをまとめた報告書を公表しました。電気自転車の利点として、静寂性、CO₂ や粒子状物質、窒素酸化物の排出量の低さ(対乗用車)などが挙げられています。

<http://www.umweltbundesamt.de/presse/presseinformationen/e-raeder-eine-kleine-mobilitaetsrevolution>

4. イベント情報

● 第4回地域の交通環境対策推進者養成研修会(富山市)

日時:2014年10月8日(水)~10日(金)

場所:ポルファートとやま 翡翠の間ほか

主催:EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省北陸信越運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2014.html>

● 関東 EST 創発セミナー「環境にやさしい公共交通のこれからを考える」

日時:2014年11月14日(金)

場所:ホテルサンシャイン宇都宮 2階 エメラルドホール

主催:EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省関東運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu33.html>

● 交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会(東京)

日時:2014年10月1日(水)14:30~16:30

場所:アルカディア市ヶ谷 6階「伊吹(東)」

主催:公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/data/setumeikai_14.10.1.pdf

● バスフェスタ 2014 in Tokyo

日時:2014年10月4日(土)

場所:都立代々木公園・ケヤキ並木

主催:公益社団法人日本バス協会

http://www.bus.or.jp/event/pdf/press_20140619.pdf

● EV・PHVタウンシンポジウム—in 鳥取—

日時:2014年10月11日(土)10:00~16:00

場所:とりぎん文化会館

主催:経済産業省、一般社団法人次世代自動車振興センター

<http://www.meti.go.jp/press/2014/09/20140911001/20140911001.html>

● 鉄道の日記念ポートラム運転体験会

日時:2014年10月11日(土)

場所:富山ライトレール本社及び車両基地

主催: 富山ライトレール株式会社

<http://www.t-lr.co.jp/news/news0227.html>

●エンジョイエコドライブおかやま

日時: 2014年10月25日(土)9:00~16:30

場所: 岡山運輸支局、ドイツの森

主催: 日本自動車販売協会連合岡山県支部、岡山県軽自動車協会

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/koukan/0828ecodrive.pdf>

●みんなで楽しむ! 学ぶ! 「とやまエコドライブ講習会 & コンテスト 2014」

日時: 2014年11月8日(土)9:00~14:30

場所: 富山県庁他

主催: 富山県、エコドライブとやま推進協議会

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00014635.html

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2014

日時: 2014年11月8日(土)、9日(日)

場所: 東洋大学白山キャンパス1号館他

主催: くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

●第12回 ITS シンポジウム 2014

日時: 2014年12月4日(木)、5日(金)

場所: 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

主催: 特定非営利活動法人 ITS Japan

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium12/

●エコプロダクツ 2014(第16回)

日時: 2014年12月11日(木)~13日(土)

場所: 東京ビッグサイト 東ホール

主催: 一般社団法人 産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/eco2013/contact/2014.html>

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

- 交通環境学習を実践する小中学校を募集しています！（9/30まで）

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>